

公益財団法人

栃木県ひとり親家庭福祉連合会



宇都宮市野沢町4-1

☎ 028(665)7806

発行人 栗橋幸子

印刷所 高橋平版社

白梅

いあいさつ

栃木県保健福祉部長

海老名 英治



栃木県保健福祉部長の海老名でございます。公益財団法人栃木県ひとり親家庭福祉連合会機関誌「白梅」の刊行に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。栗橋会長をはじめ、理事の方々や会員の皆様には、ひとり親家庭等の方々の生活の安定と

福祉の向上に向けて、日頃から一方ならぬ御尽力をいただいております。改めて深く感謝を申し上げます。

さて、昨年七月に公表されました令和元(二〇一九)年国民生活基礎調査により、母子世帯の平均稼働所得は二三一万円と、児童のいる世帯の三割程度にとどまっております。ひとり親世帯の四八・一%が相対的貧困世帯であるなど、ひとり親世帯の生活は依然として厳しい状況にあります。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大等の影響による雇用情勢の悪化などから、失業や雇止めなどのため収入が減少したり、外出自粛などにより社会的に孤立する等、子育て家庭、と

りわけ一人で子育てを担うひとり親家庭への影響が心配な状況です。

児童扶養手当受給者及び家計が急変したひとり親世帯に対しては、昨年の八月と十二月に、ひとり親世帯臨時特別給付金の支給を行ったところですが、依然として厳しい状況が続いており、ひとり親家庭が必要とする支援をスムーズに届けることが求められています。令和二(二〇二〇)年三月に策定した「とちぎ子ども・子育て支援プラン(二期計画)」に基づき、ひとり親家庭への支援と貧困の世代間連鎖を防ぐため、高等職業訓練促進給付金等の各種給付金事業、貸付金事業や母子家庭等就業・自立支援センター事業

を実施するなど、ひとり親家庭の各種支援施策の充実に努めて参ります。

今後、貴連合会と連携しながら、ひとり親家庭への就労支援等、各種事業の効果的な実施に向けて取り組んで参りますので、引き続き御協力ください。結びに、貴連合会におかれましては、ひとり親家庭の総合的な福祉を推進する県内唯一の母子・父子福祉団体として、ひとり親家庭の生活の安定と向上のため、より一層御尽力いただくことをお願い申し上げます。栃木県ひとり親家庭福祉連合会の今後益々の発展を御祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

いあいさつ

栃木県ひとり親家庭福祉連合会

会長 栗橋 幸子



令和二年度は新型コロナウイルスに揺れ、マスクを始め、一

部消耗品不足に生活不安を煽られるように始まりました。そして現在、商品供給は安定しましたが、購入できない困窮者に関する報道を目にするようになりました。今まで問題視されてきた相対的貧困ではなく限りなく絶対的貧困に近い人たちがじわじわと増加しているようです。

非正規就労者の解雇、飲食業の不況は、多くのひとり親家庭を直撃しており、特に奨学金と飲食店でのアルバイトを頼りに大

学進学した子供たちは窮地に立ちつつあります。行政の更なる貧困対策を望むとともに、私たちがサポートできることはないか真摯に考え、行動する必要があります。

残念ながら、県連合は多くの事業が中止となり断腸の思いです。皆様の地区におかれましては、例年どおりの事業が実施できず苦慮されたことと存じます。しかし、こんな時だからこそ私たちは新たな道を模索し「コロ

ナだからできない」から「コロナだからこそやらねばならぬ」との考えをもとに、事業を実施していく必要があるのではないのでしょうか？

フードバンクと連携し必要としている家庭を探し、運んであげることも良いでしょう。物質的なことだけでなく心の拠り所となることにもなります。実行してみることで新たな活動分野が見えていくと信じております。

第二十六回

栃木県民福祉のつどい

令和三年八月二十四日(月)

県庁 東館講堂

知事表彰を受けて

足利市 三田 眞理子

令和二年八月に知事表彰を頂きました。コロナ感染予防の為、今年を受賞者のみ県庁で行われました。いつもと違って、少し寂しい式典ではありましたが、福祉に携わる方々が、間近で表彰を受ける姿を見る事が出来、親近感がありこれはこれで良い式典だと思えました。

私も夫を亡くし、母子会に加入して三十六年、色々な方達にお世話になりました。十二年前から三役会の一員として母子部長を受けて皆さんと一緒に活動しています。これからも母子会の発展の為に努めて参ります。

この度は知事表彰を頂きましてありがとうございます。



会長表彰を受けて

足利市 常見 正江

この度、栃木県民福祉のつどいで会長表彰を頂きました。コロナ対策の為、代表者のみ出席で表彰式が行なわれました。

平成元年に母子会に入会し、子供と共にいろいろな行事に参加させて頂き楽しい思い出を作ることが出来ました。それから十年程してから、地区の若年部長になり現在は母子会で役員をし、ささ



やかですがお手伝いをさせて頂いておられます。今回は会長表彰ありがとうございます。

県民福祉のつどい 表彰者

第26回栃木県民福祉のつどいにおいて、永年の母子寡婦福祉の功労により次の方が表彰されました。

《栃木県知事表彰》

母子家庭等支援功労者

- 足利市 三田 眞理子
- 真岡市 渡邊 和子
- 高根沢町 臼井 朋子

《栃木県ひとり親家庭福祉連合会会長表彰》

母子寡婦福祉関係功労者

- 足利市 常見 正江
- 真岡市 古橋 ミチイ
- 那須烏山市 高野 マサ子
- 茂木町 大越 都子
- 壬生町 大白 久タ

～おめでとうございます～



下野市

橋本 京子

今年度、下野市では毎年五月に行っている総会を始めとして六月に行う研修会、十一月の市の行事である福祉フェスタと、ほとんどの行事が中止になってしまいました。十二月のクリスマス会は、内容をキーキのデコレーションと、松ぼっくりで作るミニツリーにして実施しました。密にならないように、感染防止に細心の注意を払いながらですが、参加した会員の方からは「楽しかった。」「実施して良かった。」「等々の声が聞かれました。

閉会時に「二月には交流会を予定していますので、また、その時に会いましょう。」「とお別れしましたが、それも中止になってしまいました。本当に残念な一年になってしまいました。そんな中ではあります。数名の新しい会員を迎える事ができました。皆さんに来年度中にはお会いし、一緒に会の行事が出る事に多くの期待をしています。の私だけではないと思います。感染対策に神経をすりへらす毎日ですが、この時期を乗り越え皆様に会える日を信じ、笑顔をお忘れず日々過ごしていきたいと思っております。

どうぞ、皆様もお体を大切になさってください。

佐野市

立川 勝美

皆さんコロナ禍の中で思う様な会の運営が出来なく戸惑っているのではないのでしょうか?この様な中、佐野市で唯一実施することが出来た行事は親子ケーク作りです。十二月十三日、十六名の参加のもと、万全の注意を払いながら取り組みました。その感想を少しお伝えしたいと思います。

幼児から中学生までの幅広い親子さんで、どんな作品が出来るかな?小さい体に可愛いエプロン、頭に綺麗なバンダナをまきやる気満々です。小さい子はあどけない手つきで、へらを持ち、スポンジにクリームをペタペタと塗ったり、自分の指や手に付けてしまったりとお母さんに助けを求め大変でした。中学生の女の子は慣れた手つきでパティシエ気分!!自分で生クリームに着色剤や飾りつけのパーツを取り揃え持参して、工夫が詰まっています。誇らしげに作品を前に写真撮影、全員満足そうな笑顔でした。親子二人三脚での協同作業は他で見ている者にも暖かい何とも言えない感動を頂きました。例年ならこの後パーティーを開く所ですが今回は持ち帰りしました。

コロナ禍の中でなかなか会員の皆さんと顔を合わす機会がなく寂しく思っている方もいらっしゃると思います。一日も早いコロナ収束を願い、元気な姿でお会いしたいと思います。



栃木市

青木 世津子

栃木市では、クリスマスマスケーク作りを行っています。例年ですとケーク作りは皆で会場の窓ふきをして、ケークを作りゲーム等をして楽しい時を過ごしましたが、今年はコロナ禍の為に叶える事が出来ませんでした。そこで役員一同で考え、今回は、各家庭で親子で楽しむながらケーク作りをして貰うことになりました。

寡婦役員や有志により、ケークの箱つめやプレゼントを準備しました。会員の皆さんには会場の玄関ホールにて、ケークセット・お弁当・プレゼントを渡し持って帰ってもらいました。

皆でお話が出来ず残念でしたが子供達は、両手にケークやプレゼントを抱えて「わあこんなんにもらえるの！」と大喜びでした。今はコロナ禍で大変だけど、親のそばには頼もしく成長した子供の姿や笑顔がいっぱいでした。

まだまだ終わりの見えないコロナウイルス、一日も早く元の生活に戻り、来年はまた皆で楽しい時が過ごせることを願っています。



真岡市

谷口 愛子

令和に入り即位の礼が華やかに行われ、日本中がお祝いムードも東の間コロナ騒動に巻き込まれていった令和二年でした。

一月には恒例の新年会を行いました。五月には総会も予定されていましたが、コロナ感染拡大防止により中止になりました。それに昨年度は、真岡市母子寡婦福祉会が創立七十周年を迎え、九月には大きなイベントを控えており、準備も着々と進めて参りましたが、やはり飲食を伴うので中止になりました。

役員共々、話し合いを重ねた結果記念品のみ配布する事にし、連絡員さんに、ご足労頂き個別に配布しました。役員、連絡員さんのご協力に感謝申し上げます。

また、年末の楽しみにしている行事のクリスマスマスケーク作りも中止になり、各自持ち帰りご家庭で作って頂く結果になりました。

今年度の計画は何もかも予定通りにいきませんが、コロナ禍状況次第で活動を検討して行きたいと思えます。

今後への継続を考え、不安の日々が続く非常に困惑していますが、今は五月の総会に向けて取り組んで行くつもりです。本当にコロナの収束を心から、心から願うばかりです。

高根沢町

栗橋 幸子

令和二年はコロナウイルスに大揺れの一年となり、例年どおりの事業はできませんでしたが、しかし、私たちは新たな道を模索し「コロナだからできない」から「コロナだからこそやらねばならない」との考えをもとに、事業を実施しました。

先ず、マスク不足で混乱している四月早々、寡婦が手作りマスクを作り、その半分を母子に届けました。地域ごとに三密を避け、少人数でのマスクづくりは、八十歳代の寡婦も張り切り、五月に再度実施しました。

母子は、バス旅行や屋内での事業ができないため、十一月にリング狩りを実施しました。天気も良く、小さいお子さんはリング園のおじさんに支えられ、高い枝の真つ赤なリングを喜び嬉しそうでした。

また、恒例のクリスマスマスケーク作りが出来ないため、市販のケークをプレゼントしましたが、この機会を利用して、会活動の説明会も併せて行いました。これら事業の全てを母子部役員が企画運営し、心強く感じた次第です。

最後に、無料学習塾がコロナの関係で六月から十二月までしか開催できず、高校受験を前に断腸の思いで終了となりましたが、フードバンクや有志者からお米を頂き、食べ盛りの中学生を持つ会員に提供することが出来ました。そこに新たな活動分野が見えてきた気がします。

足利市

三田 眞理子

令和二年一月、中国でコロナウイルスが発症し瞬く間に世界中にまん延しました。三月いっぱい、多田会長さんが引退した後を十二年間若年部長としておりました私が引き受ける事になりました。微力ではありますがよろしくお願い致します。

さて、新年度から一年間の行事を地区の若年部長、組織部長と一緒に会議をして話し合いました。しかし三月四月とコロナウイルスの感染が止まらず、バス旅行も取りやめ、市の学習センターも貸し出しが出来ず色々な行事が中止になりました。子供達も学校が休みになり、卒業式入学式もいつもの年と違って寂しい式典となりました。

そんな中、十二月に入り、母子会の方達にクリスマスプレゼントを渡す事にしました。いつものクリスマス会の時よりも大勢の方達が参加し親子で八十名になりました。マスク着用と検温をし、密を避けるためにプレゼントを渡すすぐに帰るという流れで、あまり皆との交流は出来ませんでした。元気な顔を見ることが出来安心しました。

まだまだコロナの感染が広まっていて足利市も色々な場所ですクラスターが発生し、亡くなった人もいます。これからは各自が注意をして生活することが大切ですね。

壬生町へ

森尻 眞理

栃木県の県央南部に位置する壬生町は、人口四万人の小さな町ですが、一日二千人の外來患者が訪れ、ドクターヘリが運航している医療の最先端の獨協大病院があり地域医療に密着しています。

また、令和四年には、会員制大型倉庫コストコがオープン予定になっており今、工事真っただ中です。

そして、令和三年十一月二十日・二十一日には、全国藩校サミットが開催されます。

藩校サミットとは、江戸時代の各藩の藩校間の交流と漢字文化の継承を目的に、漢字文化振興協会と開催自治体が主催し、全国から各藩の子孫が一堂に会し、藩校を活用した取り組みなどの報告をします。壬生町には県内最古の藩校「学習館」があったことから、小中学校で論語教育を取り入れてきました。壬生藩の功績も知られるようになり、町内での全国藩校サミット開催が決まりました。

町民一体となって、藩校サミットを作り上げ盛り上げていきたいと思えます。皆さん、是非壬生町にいらして下さい。お待ちしております。

受講生の声

初任者研修を受講して

戸室 直美

介護の資格もないまま介護施設で三年位働いていた私ですが、今回、ひとり親対象の就業支援講習会で介護職員初任者研修がある事を知り受講しました。

介護の資格を取りたいと思っていたけれど、金銭的な事や土日は子供の部活の送迎もあり、仕事をしながらさちんと通えるか不安でしたが、周囲の方の協力とこの支援制度のおかげで受講する事ができました。

コロナウイルスの影響で講座のスタートが遅れたり、施設実習が出来なかったりと、色々制限がある中で受講で人数も少なかつたので、みんなと仲良く親として頑張っている仲間や介護業界で働いている人との情報共有、交換もできたのでとても良い出会い、経験ができました。介護の基礎知識や技術を知ることができ、同じくひとりで頑張っている仲間や介護業界で働いている人との情報共有、交換もできたのでとても良い出会い、経験ができました。介護の基礎知識や技術を知ることができ、同じくひとりで頑張っている仲間や介護業界で働いている人との情報共有、交換もできたのでとても良い出会い、経験ができました。

最後に、この様な機会を与えて下さり、サポートして下さいました皆様に感謝致します。本当にありがとうございました。

初任者研修を受講して

藤沢 冬美

以前から、介護に興味はありましたが機会がなく、経験も資格もありませんでした。引越してきて職探しの始めた頃、ひとり親家庭の支援がある事、そこで初任者研修の募集をしている事を知り、受講させて頂きました。

人見知りの私は初日の自己紹介で上がってしまい、さちんと話すことが出来ないほどでした。しかし、講師や研修の仲間の皆さんがとても優しく、だんだん話せるようになったり、講師の体験談なども聞くことが出来たりと、楽しく介護について学ぶことが出来ました。

受講中に娘の保育園入園や、私の就職先も決まり、現在、デイサービスもある、サービス付き高齢者向け住宅で介護の仕事をしていきます。毎回緊張しながらですが、初任者研修で学んだ事を生かしながら、入浴や傾聴、ご利用者様の前で体操をしたりと、毎日、学びながら楽しい日々を過ごしています。

それから、スキルアップを目指し、実務者研修を受講し始めたところです。最後にありますが、研修を受講させて頂いた大きな大変感謝しております。

事務局の皆様、講師の先生方と一緒に研修を受講してきた皆さん、本当にありがとうございました。

医療事務研修を受講して

星野 久美子

現在の職場環境での今後の生活はとても不安で、今より安定した仕事につきたいと考え資格取得に目を向けるようになりました。以前から医療事務の仕事に興味があり、ひとり親家庭福祉連合会のホームページにアクセスしました。担当の方が丁寧に対応してくださり、講座に参加する事になりました。

初日では、沢山の資料を渡され、重みと同時にとても不安になりました。講習回数を重ねるにつれ難しくなり、家庭での復習時間に追われましたが、担当の方から何度か連絡をいただきその都度励まされ、とても前向きな気持ちになりました。

そんな中、途中から娘も一緒に参加する事になりました。私と一緒に勉強したいと言ってくれたのです。二人で復習したり、通学時間にたわいのない話をしたり、親子の時間が増えました。

そして今、講師の先生や担当の方のご支援のもと、二人とも無事医療事務の資格を取得し再就職に向けスタートを切りだしました。サポートがなかったら踏み出せなかつた事だと思えます。背中を押してくれた事務局の方々にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。



令和3年度行事予定

- ひとり親家庭福祉研修大会 7月4日
- 県民福祉のつどい 8月23日
- 関東ブロック研修大会 9月26日 (静岡県静岡市)
- 親子ふれあい会 10月2日
- 全国研修大会 (宮城県仙台市) 11月6日～7日
- サポーターのつどい 11月14日
- 家庭生活支援員養成研修 1月～2月

令和3年度就業支援講習会

ひとり親家庭の父、母及び寡婦の方対象

- *介護職員初任者研修
- *医療事務研修
- *調剤薬局事務研修

講習は無料ですが、テキスト代、受験料等の個人負担があります。4月1日より随時受付、4月より順次開催となりますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

女性弁護士による無料法律相談

離婚を考えている方、ひとり親家庭の父、母及び寡婦の方対象

- ・相談日 毎月第2第4水曜日の午前中
- ・相談時間 ひとり30分程度

事前予約が必要です。

※お問い合わせ・予約
☎028-665-7801・7806
火曜日～日曜日(祝日除く)
9:00～16:00

編集後記

令和二年度は新型コロナウイルス禍により、県・市・町ひとり親家庭福祉会の計画されていた事業は、ほとんどが中止を余儀なくされ、十月の広報紙「白梅」も発行できませんでした。そのため年度明けになりました。そのため年度明けになりました。そのため年度明けになりました。そのため年度明けになりました。

〈広報部会〉
瀬戸・齋藤・赤荻・橋本
山口・森島・高田・田口
大野・織田

「白梅」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。